



美杉会グループ

つなぐ



この冊子をご自身のお手元に置き、よろしければ
お書き頂きご活用ください

この冊子は、患者さん、利用者さん一人一人が、何を大切に生きてこられたのか、その思いをご自身が知り、それを家族やまわりの方々に「つないでいく」ためのものです。
そして、元気な時から最期まで、美杉会グループがその思いを支えていけたら、という願いから作成しました。

尚、この冊子は、遺言書のような法的な物ではありません。
ご自身の手元に置いて折にふれ確認して頂けたら幸いです。

お名前	(男・女)	生年月日	
住 所			
T E L			

私の歩んできた道

(私の生い立ち、家族、歴史)

例 私は畑の仕事をしながら、4 人の子育てもしました



(私の大切にしているもの)



例 愛犬のタロウが私の一番の癒しです

(これからの私のやってみたいことや会いたい人など)

例 なるべく人の手を借りず友達と楽しく過ごしたいなあ

私のこれからの治療や介護に対する思い

〈今までかかった私の病気や現在治療中の病気〉

① _____ 病院名

② _____ 病院名

③ _____ 病院名

〈病気の説明について〉

- ☐すべて知りたい ☐知りたくない
☐その時の状況による ☐その他（ ）

〈病気の治療について〉

- ☐できる治療は積極的にすべて受けたい
☐治らない病気ならすべての治療を受けたいとは思わない
☐痛みや息苦しさを取る治療は受けたい
☐その他（ ）

〈介護が必要になった時〉

- ☐自宅で生活したい ☐施設で生活したい
☐その他（ ）

〈口から食べれなくなった時〉

例えば口から食べれない状態とは…

- 高齢になって、徐々に食べれなくなった。
- 認知症になって、食事を認識できず食べたがらなくなった
- 食べると誤嚥してしまい、肺炎を繰り返すので口から食べれない
- 元々の病気が原因で食べれなくなった

- ☐お口から食事を摂れなくなれば、寿命（人としての自然な流れ）
だと思うのでそのまま経過をみてほしい。
☐手からの点滴で水分や栄養を入れてほしい。
☐首や足の太い血管から栄養のある点滴をしてほしい。
☐鼻や胃に直接チューブを挿入して、水分や栄養を入れてほしい。
☐その他（ ）

〈人生の終わりが近づいてきた時の延命治療について〉

延命治療とは、衰弱や病気などで生命の維持が難しい方に対して、治る・回復ではなく「延命」を目的に治療することを言います。

例えば・呼吸が弱くなってきたときの人工呼吸器をつける

・心臓が弱ってきたときに、心臓マッサージをしたり血圧をあげる薬や心臓に作用する薬を使う ことなどです。

■ その治療について説明をきいたことが

☐ ある（誰に： ）

☐ ない（今後、話をきいてみたい ・ 聞きたいとは思っていない）

■ そのような治療をうけたいかについて（気持ちに近いものを○囲ってください）

☐ 考えていない  ☐ 考えたくない
☐ 考えていない  ☐ 今後考えたい

☐ 考えている  ☐ 出来る限りのことをして、命の時間を延ばしてほしい
☐ 考えている  ☐ そのような治療を受けたくない

■ これらの思いは

☐ 自分で決めた

☐ 誰か（ ） と決めた

その治療の内容については、医療の専門家に尋ねてみましょう

〈最期の時に過ごしたい場所は〉

☐ 自宅 ☐ 病院などの医療機関

☐ 施設 ☐ その他（ ）

〈私の人生が終了したら〉

お葬儀は☐ 葬儀場でしたい ☐ 自宅でしたい

☐ その他（ ） ☐ 宗 教（ ）

〈これらの思いを自分自身が伝えられなくなった時、私のかわりに伝えてくれる人は・・・〉

☐ いない

☐ 氏名 () 続柄 ()

この人に思いは ☐ 伝えています ☐ まだ伝えていません

緊急連絡先

① 名前 TEL

(配偶者・子供・親・兄弟姉妹・友人・知人・その他)

② 名前 TEL

(配偶者・子供・親・兄弟姉妹・友人・知人・その他)

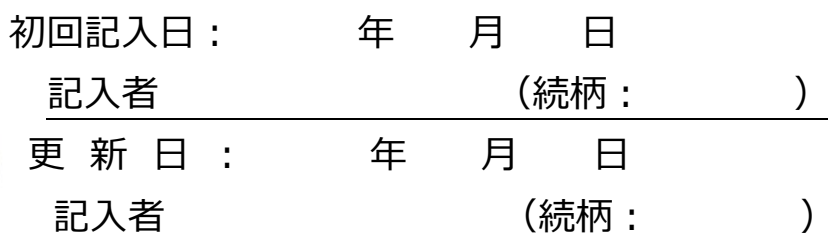
③ 名前 TEL

(配偶者・子供・親・兄弟姉妹・友人・知人・その他)

私のことを、よく知ってくれている人たち

(友人・行政の人・ケアマネージャー・介護サービス事業所の人・・・など)

	〇〇さん	ご関係	備考
①			
②			
③			



MEMO

あなたの想いはとても「大切」です。
あなたのその想いをつないでいきませんか？
大切な人、親しい人とこの冊子を一緒に見たり、記入したりして
「つなぐ」をやっていきましょう。
わからないことやご相談したいときはお声かけください。